



(公社)埼玉宅地建物取引業協会越谷支部
越谷宅地建物取引業協同組合
越谷市越ヶ谷 2-8-23
<http://takken.org>
発行・編集：広報啓発委員会

【10月理事会報告】

1. 埼玉県水源地域保全条例に基づく森林の土地取引の事前届出制度について（平成 24 年 10 月 1 日施行）
問合せ：埼玉県農林部森づくり課森林企画担当(048-830-4312)
2. 「宅地建物取引業法の解釈・運用の考え方」の一部改正についてマンション管理の適正化の推進に関する法律「第 103 条第 1 項」の規定による業者が交付すべき当該マンションの設計に関する図書について追加で明記されました。
詳しくは協会本部HPをご確認下さい。
3. 全宅連主催による平成 24 年度不動産実務セミナーの開催について
開催日 平成 24 年 11 月 13 日（火）午後 12：00～午後 4：30
場 所 代々木セミナー大宮校（本館）
詳しくは協会本部HPをご確認下さい。
4. 土地開発公社所有地公売について
越谷市にある土地を公売しています。
申込・入札期間：10月24日（水）まで
問合せ先：越谷市土地開発公社事務局（963-9301）

支部ニュース

1. 緊急のお知らせ

平成 24 年 10 月 1 日より、当協会会員を含む不特定の宅建業者宛に複数枚に渡る宅建業者名簿が F A X で流れているとの情報が寄せられ、協会本部にて調査中した結果、事件性は無く、FAX 送信委託業者の誤送だったことが分かりました。

しばらくの間、越谷支部のホームページの会員名簿については公開を見合わせておりますが、様子を見て公開していきたいと思っております。ご理解の程宜しくお願いいたします。

尚、ご希望される方には、事務局窓口にて越谷支部会員名簿を 1 社 1 冊配布しております。

2. 本部主催「宅建業者法定研修会」

開催日 平成 24 年 10 月 9 日(火) 13:00～

場 所 サンシティホール 大ホール

	参加人数	
蒲生地区	78 名	86.7%
越谷地区	89 名	78.1%
越谷北地区	59 名	80.8%
吉川地区	33 名	70.2%
その他地区	1 名	100%
合計	260 名	80.0%



飯田支部長 木村公一氏 中村行夫氏 佐久間豊氏

3. 越谷支部親睦旅行（堂ヶ島温泉 参加者 55 名）

開催日 9 月 25～26 日

撮影地

三島大社にて



委員会報告

情報提供委員会

- ・ 9月13日(木) 第1回情報提供委員会講習会を開催しました。
参加者 81名
内容：原状回復費用を借主負担とする方法



消費者相談委員会

- ・ 9月20日(金)不動産無料相談会を開催しました(相談件数 10件)

法令遵守委員会

- ・ 11月1日より法令遵守指導がはじまります。

総務財務委員会

- ・ 新規入会者面接(1件)

親睦会ニュース

蒲生地区親睦旅行

- ・ 開催日 9月4日(火)～5日(水)
- ・ 行き先 東京スカイツリー他
- ・ 参加人数 26名



(撮影地)東京スカイツリー

組合ニュース

- ・ 輪転機保守契約更新について
保守契約更新に伴い保守契約料として 91,575円(税別)支出しました。
- ・ カラー印刷機購入について
経年変化の消耗により使用不能となりましたので、商品を購入することとなり、費用は概算で約2～3万円です。

【会員移動】

★入会者★

平成24年9月末日現在 会員数 326名

START 株式会社
代表取締役 池田 栄治
〒342-0036 越谷市南越谷 3-22-5 1F
TEL: 960-5207 FAX: 960-5208

★退会者★

株式会社石川商事(越谷北地区)
三徳商事(越谷北地区)
有限会社三友住宅(越谷北地区)
ヤマキ株式会社(吉川地区)
一建設株式会社 吉川営業所(吉川地区)
有限会社埼玉産(その他地区)

★支部移動★

株式会社不動産売却サポート(蒲生地区)
→10月1日付 埼玉東支部所属



宅地建物取引主任者賠償責任補償制度

平成25年度新規加入者募集中

申込期限：平成24年12月7日 協会本部必着
尚、申込書は協会本部からの会員直送便に同封されております。(9月20日便)
保険期間：平成25年4月1日16時から1年間
加入問合せ：協会本部 048-811-1820
変更問合せ：㈱宅建ブレインズ 03-3234-0699
内容問合せ：㈱損害保険ジャパン 048-648-6010

不動産無料相談会のお知らせ

開催時間 10時～15時
開催日：平成24年11月20日
場所：越谷宅建会館3F
開催日：平成24年11月18日
場所：吉川市 おあしす

編集後記(篠田副委員長)

皆様こんにちは。広報啓発委員会の篠田 浩と申します。日ごとに秋も深まってまいりました。秋は行事ごとの多い季節ですから、率先垂範で行事に参加して地域交流の輪を広げたいものです。